

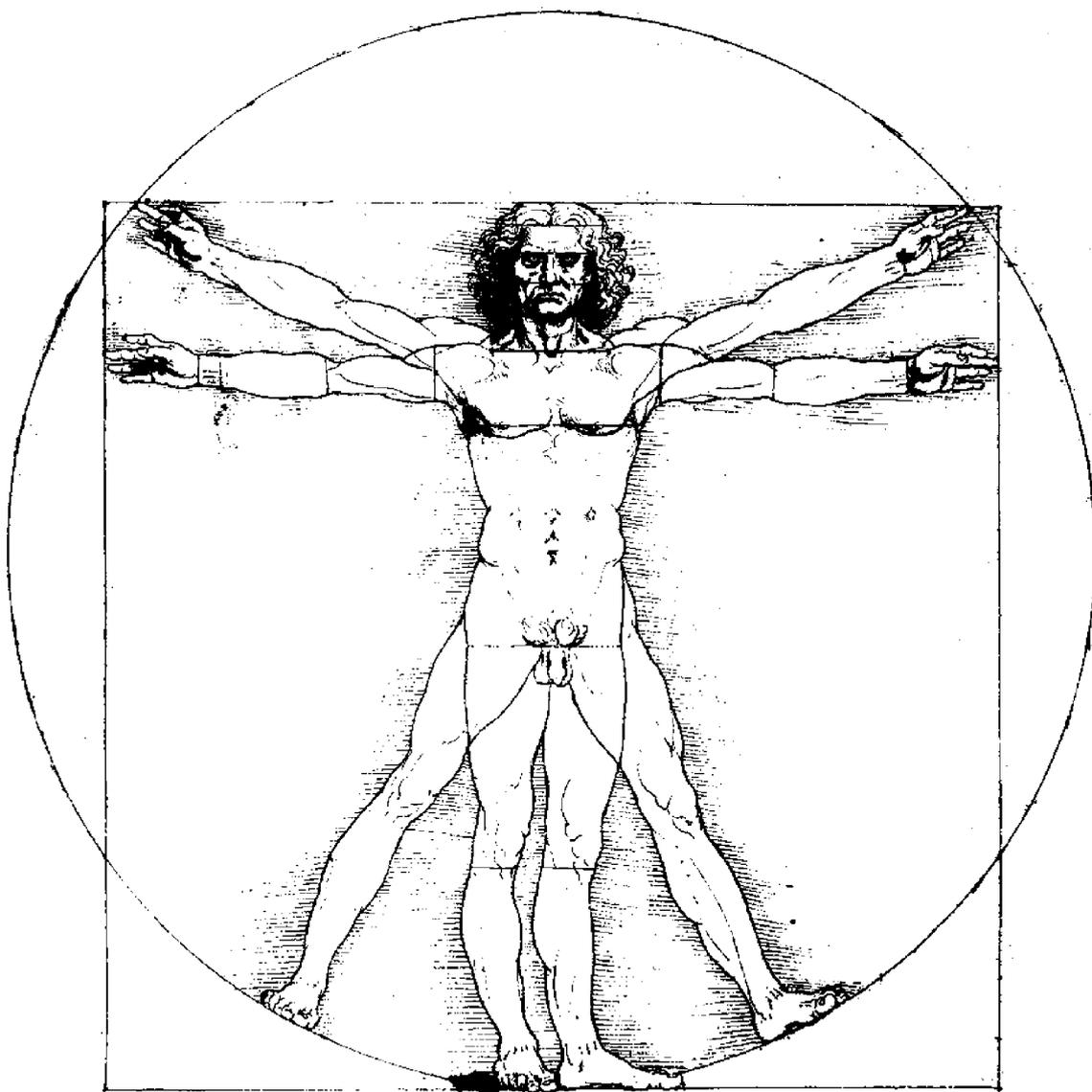
ISHIN

隔月刊・無料配布

2024.11

No.102

医心



福井における
形成外科医療を牽引

福井大学医学部 形成外科学 教授

中井 國博

女性の幸せのために
産婦人科医ができること

吉本レディースクリニック 院長

吉本 裕子

Contents

04 福井における
形成外科医療を牽引
福井大学医学部 形成外科学 教授
中井 國博

12 女性の幸せのために
産婦人科医ができること
吉本レディースクリニック 院長
吉本 裕子

17 ファイネスの
お聞かせください、ドクター！
DOCTOR'S VOICE
ゆたかクリニック
山本 優

「建物の主治医としての自覚」 —これが、みづほのこだわりです。

ののいちメディカルクリニック様



外観正面



セラピーガーデン



総合内科棟 受付・待合室



整形外科棟 待合室



脳神経外科・内科 認知症専門科棟 待合室



コンシェルジュ棟 ロビー受付

独立の夢、応援します。

培ってきた豊富な経験とノウハウを基に
医療経営コンサルタントによる開業支援

私たちみづほ工業は、医療建築分野での
提案営業スタイルを確立し、
病医院や福祉施設の開業を支援しています。
これまで培った豊富なノウハウを基に診療圏調査、
土地探し、施設提案、事業運営までを
専門スタッフが丁寧にサポート（無償）いたします。
多くのドクターが抱かれている開業についての
不安や不明な点を和らげ自信を持って開業へと
進んでいただけるお手伝いができればと考えております。

医院・歯科医院開業個別相談会

日時 ● 令和6年12月21日(土)・22日(日)
10:00~17:00

会場 ● みづほ工業(株)本社(八日市)

詳しくはHPをご覧ください。

<https://www.mizuho-co.com/medical/>

申込QRコード



STAFF

Editor 坂口俊克
Writer 白鳥幸代/若井 憲
Photographer 藤森祐治
Designer 吉田真人/西村恭子

発行/NPO法人 学産プロジェクト
〒920-0213
石川県金沢市大町東55番3号
TEL 076-203-6613
e-mail:info@project-ishin.net

木造の新しい選択肢。

店舗・事務所・倉庫・医療福祉施設・保育園・アパートなど鉄骨造が一般的だった大規模建築を木造で。

木造建築の新しい選択肢「テクノストラクチャー」。木造でありながら柱の少ない開放的な大空間を、「木」と「鉄」のハイブリッド複合梁「テクノビーム」で3階建、延床面積3,000㎡まで対応可能です。みづほ工業は建築物の木造化を推進し、地球温暖化の防止や循環型社会の形成、そしてカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

- 建築コストの削減
- 建築工期の短縮
- 高い耐震性と耐久性
- 建物の軽量化
- 設計自由度の高さ
- 大空間の木造建築

新しい建設サービス業の展開
NIZUHO みづほ工業株式会社
本社/〒920-8064 金沢市八日市5丁目562番地 TEL:076-240-7010(FX) ホームページ: <https://www.mizuho-co.com>



● 医療施設

● クリニック

● ドクター

● 薬剤師

● 看護師

地域包括ケアシステムをサポート

ICCの情報技術「患者情報共有ネットワーク」は
地域包括ケアシステムに関わるすべての方のニーズに応える
ソリューションとして、さまざまな医療の現場で生かされています。

私たちはITで万全のネットワークを築いていきます。

● 栄養士

● 介護士

● ソーシャルワーカー

● ケアマネジャー

● 民生委員

● 地域の方々

● 在宅高齢者施設

● 民間支援相談室



Link The Medical Information

ITによる医療情報ネットワーク

icc 株式会社
石川コンピュータセンター

医療システム本部 / 〒924-0833 石川県白山市向島町1100番地
TEL (076) 268-8315(代) FAX (076) 268-7145
医療向けソリューション <https://www.icc.co.jp/medical/>

■ 本社 / 〒920-0398 金沢市無量寺町八6番地1
TEL (076) 268-8311(大代表)
<https://www.icc.co.jp/>

■ 支社 / 東京・名古屋
■ 支店 / 大阪
■ 営業所 / 富山・福井

整形外科とは異なる 外科領域

人間は日頃、いまの状態が当たり前だと信じている。ゆえに、身体の機能や形態を損なうと、その喪失感はいくらも知れない。これを救うのが形成外科という外科領域の一つである。一般に、形成外科について「名前は知っているが、どんな疾患を治療するのかは知らない」という声が多いとされている。消化器内科、眼科、皮膚科のように、臓器や組織といった身体の部位別の診療科ではないからだろう。形成外科とは、身体に生じた組織の異常、変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対し、機能性も形態性もかなう限り、元どおりにすることによりQOLの向上に貢献する外科系の専門領域、と日本形成外科学会は定義している。

福井大学医学部に2024年8月、形成外科学の講座が開設され、中井國博教授はつぎのように語っている。「形成外科が本院にできたのは2013年7月、それ以降、福井県における形成外科の中核的な役割を果たそうと邁進してきました。それから11

年目、講座が開かれたことを医局員ともどもたいへん喜んでいました。私も定年まであと10年ほどですから、いまが私にとつての中間地点。これまでに症例数も医局員も増えました。患者さんの要望に応えられるよう努力してきたから、と捉えています。最良の治療をすれば、つぎの紹介があり、それを積み上げてきた。その結果がいまの形成外科。とはいえ、大学が講座をつくってくれたのは、もっともっと頑張れ、という鼓舞であろうと感じています」

症例の多いのは乳房再建

福井大学医学部附属病院形成外科の診療対象は、外傷、熱傷、手術などによる組織の欠損・変形・瘢痕、顔面骨折、切断指、皮膚腫瘍、眼瞼下垂など、身体のままさまざまな外表組織への異常であり、また、頭頸部腫瘍手術後の組織欠損に対する組織移植、乳がん切除後の乳房欠損に対する乳房再建などの再建術も行う。それらの後天的なものに加え、先天的な疾患としては、小児における多指症、合指症、口唇裂・口蓋裂、耳介形成異常などがある。以上のように

福井における 形成外科医療を牽引

福井大学医学部 形成外科学 教授

中井 國博

Fukui Plastic Surgery



な診療対象の中で福井大学医学部附属病院形成外科が得意とするのは、乳がん切除後の乳房再建術だ。

「乳がんにかかる患者さんの年齢層は幅広いのですが、どんな年齢であっても乳房切除の喪失感、周囲の者には理解できないほど大きいものです。がんの治療を終えて日常生活に復帰できても、外に出たくなくなった、子どもと一緒にプールに入れなくなったなどの悩みが生じます。福井の場合、土地柄か、温泉が好きだという方が多く、人の目を気にせずにお風呂に入りたいから再建手術をしてほしい、といった要望もよくあります」

乳房再建には患者自身の組織を使う場合と人工のシリコンインプラントを用いる場合があり、患者の要望や状態に応じて最適な手術を選ぶ。

また、加齢などによりまぶたが下がる「眼瞼下垂症」も手術例は多く、まぶたの皮膚の垂れ下がりとまぶたを上げる機能を回復することでQOLの改善につなげている。

さらに、近年増えているのは小児の形成外科患者である。以前は、福井に受け皿がないと思われており、患者は

金沢や京都、名古屋など県外の医療機関に向いていたという。

「そのころは県内の小児科と連携が取れておらず、福井では先天的異常のある小児の患者さんは治療できないと思われていました。福井の患者さんは福井で診ていかないと、と強く思うようになり、いまでは、小児科とのつながりができまして、当科に来る小児の患者さんが非常に増えました」

地方だからこそその研修環境

福井県において、形成外科のある基幹病院は、福井大学医学部附属病院、福井赤十字病院、福井県立病院である。北陸における形成外科専門医の数を10万人当たりで比べると、福井は1・62人、富山は2・2人、石川は3・27人。福井における形成外科医の輩出は福井大学医学部附属病院形成外科の責務といえる。

「地方の病院で研修を受けるメリットは、豊富な種類の症例を診られること、指導医がじっくりと研修に対応してくれることです。都会の病院では症例数は多いですが、形成外科を設置す

る病院がたくさんあるので、各病院での診療のすみわけがあります。特定の疾患の研修を希望するのであれば、その症例数が多い病院に行けばよいのですが、形成外科で取り扱う疾患は多岐にわたるので、それら全般を研修するには都会は不利ではないかと私は思っています。その点、地方では症例数は少ないですが、形成外科のある病院も少ないため、形成外科疾患の全般を研修できるという利点があります。研修環境にも余裕があり、上級医からきめ細かい指導を受けられます」

手術後の痛みに関する研究

中井教授の長年にわたる研究テーマは「術後の痛み」の評価である。手術が良好だった症例にもかかわらず、術後の痛みのため患者が手術の評価を著しく下げてしまうことがある。痛みの評価は患者の申告に頼っており、時に鎮痛薬の過少あるいは過剰投与となり適正な医療がとめられている。

痛みの客観的評価の確立を目指して、福井大学医学部附属病院形成外科



と言われていますが、医局員たちはたいへん、まじめで熱心。時間外でも手術に入りたがります。特に、再建手術は患者さんの喜びようを見ると、いかにも大きな手術というか、達成感があり、見学するために時間外もみな残っています。ただ、ある程度、手術を経験すると、強気な発言が出るようになり、やや天狗になってしまう者もいます。そのへんはうまく軌道修正して、確実に上達できるように引っ張り上げています」

「最幸医局」であるならば「最強医師」が育つはず。中井教授のストラテジーは着々と進んでいる。

と大阪大学医学部附属病院形成外科がタッグを組み、企業の支援を受け、痛みを評価する機器に対する医師主導治療を2024年3月より開始。この治療は、痛み評価の機器を用いて手術後に投与された鎮痛薬による脳波の変化を分析、鎮痛薬の薬効を客観的にモニタリングし、痛み客観的評価の妥当性の検証を目指している。

また、研究対象とした疾患として重症下肢虚血があり、安静時の疼痛、皮膚潰瘍、壊疽を発する病態であり、その疼痛は激烈であるといわれている。一方で無症候性といわれる痛みを感じない症例もある。痛みの有無という違いは、脳内ネットワークの違いと考えられており、この脳内ネットワークの解明に取り組んでいる。

形成外科医のやりがい 福井へ発信

中井教授は大阪大学の医学部在学中、形成外科学に進もうと決めたのは、同大形成外科学初代教授の細川互氏との出会いがあったからだという。

「細川先生の手術を初めて見せていた

中井 國博 なかい くにひろ
福井大学医学部 形成外科学 教授

- 1995年 大阪大学医学部卒業
- 大阪大学医学部附属病院皮膚科内形成外科診療班 研修医
- 1996年 大阪府立千里救命救急センター レジデント
- 1997年 大阪警察病院形成外科 研修医
- 1999年 大阪大学医学部附属病院形成外科 医員
- 2003年 大阪大学大学院医学系研究科分子病態医学専攻皮膚科学講座(形成外科学) 助手
- 大阪船員保険病院形成外科 医務職
- 2004年 住友病院形成外科 副医長
- 2005年 大阪医科大学形成外科 助手
- 2006年 大阪医科大学形成外科 学内講師
- 2007年 大阪医科大学形成外科 講師
- 2010年 大阪大学医学部乳房再生医学寄附講座 准教授
- 2011年 市立堺病院形成外科 科長
- 2012年 地方独立行政法人堺市立病院機構市立堺病院形成外科 部長
- 2013年 福井大学医学部附属病院形成外科 准教授(診療科長併任)
- 2024年 福井大学学術研究院 医学系部門医学領域 感覚運動医学講座 形成外科学分野教授(診療科長併任)

Fukui Plastic Surgery



だいた時、たいへん楽しげなご様子に目を奪われました。われわれ医師はガイドラインに従って治療を行うことが基本です。とはいえ、疾患は同じでも、患者さんの状態はそれぞれで、同じではありません。細川先生は、患者さん一人ひとりに合わせて微調整をなさる。そういう『引き出し』を多く持っていたりしゃる大先生です。自分もそうなりたいたと励んできましたが、まだその域に達したか…どうかな」

日本形成外科学会には、皮膚腫瘍外科分野、小児形成外科分野、再建・マイクロサージェリー分野、レーザー分野という特定分野4つが設けられており、中井教授はその4分野すべての指導医資格を取得している。近年、形成外科への認知度が福井でも浸透してきたことで、「中井先生にぜひ手術を」という要望が増え、「中井2号、中井3号」を育てることは教授の課題になっている。

形成外科医の醍醐味を医学生や研修医に訴求してきた成果はこのところ少しずつ現れ、毎年希望者を受け入れるようになってきている。

「働き方改革の遂行により、医局によっては17時になるとだれもいない、など



ドラッグストア併設で理想の開業を!

DCPソリューションの提供サービス

経営理念、診療方針の作成
 開業までのスケジュール作成
 開業地の選定、診療圏分析
 事業計画の策定
 融資の打診及び交渉
 設計、内装業者紹介及びアドバイス
 医療機器選定
 税理士、公認会計士の紹介
 広告相談
 従業員募集、採用、教育の補助
 開設手続き
 開業後の経営支援、拡大展開
 継承支援



DCPソリューションは
 豊富な経験とネットワークを持つ
 先生方のよきパートナーとして
 開業支援サービスを提供しています。

開業の事例や先生方の声をご覧ください



0120-911-545

平日(土曜・日曜・祝日を除く)の9時00分~18時00分

拠点

- 関東エリア(本社) ●東京都千代田区鍛冶町二丁目6番1号 堀内ビルディング2階
- 中部エリア ●愛知県大府市横根町新江62番地1号
- 関西エリア ●大阪府大阪市淀川区宮原4丁目4-48
- 北陸・長野エリア ●石川県金沢市藤江北4丁目280番地

<https://dcp-sol.com/article/docvoice/>

女性が好む雰囲気
県内トップの実績

吉本レディースクリニックは2005年4月27日に開業し、以来年間の正常な分娩数は富山県内で1位をキープし続ける人気の産婦人科だ。

「患者さんは、産科と婦人科がほぼ半々。お産だけでなく、婦人科の疾患の方もたくさん診ています。皆さんが少しでも不安を持った時に、気軽に来ていただける産婦人科として、多くの女性から頼りにしていただいています。当院は専門性を発揮するのではなく、必要があれば専門の医療機関へとつなぐ、プライマリ・ケアに徹していて、富山大学附属病院、県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院をはじめ、県内の総合病院と連携をとっています」と、吉本院長。お産は急変することもあるが、救急車を呼んでから20〜30分以内にはどこかの総合病院に搬送できるという立地も、万が一の時には心強い。

「近隣のクリニックへも、それぞれ

きめ細やかで思いやりに満ちたさまざまなサービスが、多くの女性の心に響いている。さらに女性のさまざまな悩みに応えるべく、2011年には美容皮膚科も併設した。

医者ではなく、
産婦人科医になりたかった

そもそも吉本院長はなぜ、産婦人科医を目指すようになったのだろうか。

「高校3年生の時に体調を崩して産婦人科に行ったことがあり、その時に産婦人科って女性にとってなかなかハードルが高い診療科だということを知りました」

その頃の産婦人科の医師はほとんどが男性で、閉鎖的だった病院の雰囲気も手伝い、「何をされるのだろうか」という底知れぬ不安を感じたという。この先、自分や周りの人が妊娠や出産で通うようになることを想像して、もっと女性が来やすい雰囲気に変えたいと思ったことが、産婦人科医を目指す原点となる。

「それまで医者になることはもち



YOSHIMOTO
LADIES CLINIC

吉本レディースクリニック 院長

吉本 裕子

女性の幸せのために
産婦人科医ができること

れの得意分野が分かっていますので、紹介することも多いんです」と、富山市医師会や富山県産婦人科医会の理事も務める院長は、患者のために自身のネットワークをフル活用している。

人気の理由はこのような医療への向き合い方だけではない。「うちの強みは女性目線」と言い切る通り、設備やサービスなど、さまざまなところに女性ならではの視点が生かされている。

「患者さんに何をすれば喜んでもらえるか、幸せだと感じてもらえるかということを考え、さまざまな医療を行っています。医師や助産師、看護師をはじめ、事務長以外は全て女性ということで安心してもらえることも多いです。出産して退院される時、美容師がシャンプーとプロウをするサービスや、当院からの出産プレゼントも評判がよく、食事のおいしさも定評があります。

また、今年には、女性が抱える日常のストレスや疲労を緩和させるためのハーブティ『TEAid』も開発しました」

ろん、そもそもやりたいと思うことも全くありませんでしたが、産婦人科医になりたいという目標ができ、3浪しましたが医学部に合格できました」

産婦人科医は、いつ呼び出されるかわからず、いわば24時間365日束縛されているようなところもある。大変な仕事ではあるが、やりがいも大きいと言う。

「毎日、新しい命にめぐり会える瞬間に立ち会えるのは本当にありがたいですし、自分にとっては天職です」

産婦人科医は成り手が少ないと言われるが、吉本院長によれば、例えば富山大学の産婦人科の医局では女性の医師は増えているという。ただし、女性の場合、ライフイベントによって、仕事をセーブしなければいけない状況になることがあり、増えている割には総合病院などの医師の数の増加には結びついていないとも。

「産婦人科医ですごくやりがいのある職業だと思うんですよ。女性の先生たちも増えていますし、こ



の業界をもっと良くしていきたいので、一緒に頑張ってくれる仲間になっていただきたい」と、これから進む科を決める医学生や、医師を志す人へ呼びかける。

女性の幸せのため、 自らが開業する道を選ぶ

夫も産婦人科医で、医師になって5年目くらいに二人揃って専門医の資格が取れた時から、いずれは開業したいと思うようになったという。そしてその思いをより強くさせたのが、2003年、当時勤務していた富山市民病院で、女性専門外来の立ち上げを任された時だった。産婦人科だけでなく、内科や精神科などさまざまな科の医師がチームを組み、予約制で週に1日だけ診療を行っている、女性のためだけの外来。最初に話を聞く医師が女性ということも、患者に安心感を抱かせる。

「悩んでいるけれど病院には行けないのは、恥ずかしいとか、不安だとか、しつかり話を聞いてもらえるのか、男の先生が怖いとか、いろいろ

るな理由があります。そういう人も、女性専門外来だったら来られるということが分かり、私がクリニックをやれば、患者さんも来やすいはずだと確信しました」

医師になって3年目に、ご自身は総合病院で出産を経験した。何かと満たされることが多かったお産だったそうだが、その経験から産婦の求めていることを知ることができ、幸せなお産を実現するための方策がみえたと言う。

スタッフや患者にとつての 幸せな人生に寄り添いたい

働き方改革もあり、これからは産婦人科に限らず、どんな医療であっても、みんなで一緒に力を合わせていく、チームで取り組む医療へと変わる。その時に大切なのが、一緒に頑張ってくれるスタッフの存在だ。

「助産師、看護師も、能力の高いスタッフが集まっているクリニックだと自負しています。私がこうすべきだと言うのではなく、スタッフがどうしたいか、患者さんにどう接し

ていきたいかということを大事にしています。スタッフもここで出産して、子育てをしながら働き続けられるよう、ライフステージに合わせて仕事をしてもらえるように気を遣っています。せっかく就職していただいた方とは、人生を一緒に歩んでいきたいですから」

吉本院長が診察の時に心がけていることから、患者ファーストの考えが伝わってくる。

「私がこうしようと言って進めるのではなく、いろいろなパターンを

提案して意見を聞きながら、患者さんが望むオーダーメイドのような医療をしていきたいと考えています」

一人ひとりの思いを聞くとなると診察には時間がかかりそうだが、「私は察するのが得意なので、思いを聞くのにもあまり時間はかかりません。自分でもちよつと天性の素質かなと思うほど、患者さんの気持ちを汲むのは得意なんです」と微笑む。

産婦人科が取り組む 少子化対策と社会貢献

新たな展開として、7月からは産後ケアサービスを開始した。産後のお母さんがデイケアやショートステイで休むもので、評判も上々。このサービスのニーズが多いことが分かり、さらに拡大していくつもりだと言う。

また、女性がフルで働けるために、子育て支援についても考えがあるといる。

「学童は保育園ほど遅くまでやっていけませんので、お子さんが小学生になると、夕方早く帰りたいと言



吉本 裕子 よしもとゆうこ
吉本レディースクリニック 院長

- 1996年 高知医科大学(現高知大学医学部)卒業後、金沢大学に入局
- 1997年 富山市民病院に勤務
- 2002年 同病院にて富山県初の女性外来を立ち上げる
- 2005年 富山市羽根にて吉本レディースクリニックを開業
- 2007年 吉本レディースクリニック 理事長兼院長に就任
- 2011年 美容皮膚科を開設

う方も出てきます。そのために放課後支援や学校に行けないお子さんの居場所作りなども始めたいと考えています。これはスタッフだけでなく、地域のお子さんも預かるつもりです。女性は、働きたいし、子どもも欲しいとなった時、やはり何らかの壁に突き当たります。私たちクリニックで少しでも支援ができ、それが解消できれば、『もう一人子どもを産んでみようかな』という気持ちにもなっていただけではないのではないのでしょうか。幸せとは人によって捉え方が違うと思いますが、女性が幸せじゃないと男性も元気になれません。女性が健康で幸せで生き生きしていることが、世の中を明るくしますので、私はそこに貢献していきたいです」

すべての女性が幸せになるために、さまざまなニーズを汲み取り、できることをどんどん実践している。このクリニックの取り組みには、少子化をはじめ、社会の大きな課題を解消するための示唆に富んでいる。

富山県魚津市大海寺野

ゆたかクリニック

一般内科 呼吸器外科

山本 優 (やまもと ゆたか) 院長

【略歴】

2006年3月 富山大学医学部卒業
2006年4月～ 初期臨床研修医(富山大学附属病院、東名厚木病院)
2008年4月～ 富山大学附属病院 呼吸器外科
2009年4月～ 富山県立中央病院 呼吸器外科
2012年4月～ 小諸厚生総合病院 外科
2013年4月～ 上越総合病院 呼吸器外科
2015年4月～ 富山大学附属病院 呼吸器外科
2015年4月～ 富山労災病院 呼吸器外科、池田リハビリテーション病院(一般内科)
2019年4月～ 富山市民病院 呼吸器外科
2023年9月～ 北陸予防医学協会 とやま健診プラザ

患者さんの心と身体を「ゆたか」にしたい



一般内科から呼吸器外科まで幅広く診療

魚津市に2024年9月3日、ゆたかクリニックが開院した。一般内科としては風邪や胃腸症状、生活習慣病、喘息などの呼吸器疾患、花粉症などのアレルギー疾患を、また呼吸器外科としては長引く咳やCOPDなどの肺に関する疾患をはじめ甲状腺疾患や多汗症、禁煙外来などが診療対象である。

山本優(ゆたか)院長は長年にわたり、富山大学附属病院、富山県立中央病院などの基幹病院で研鑽してきた。「私は小さいころから野球をやっていたのですが、東京に暮らしているあいだに小児喘息となり、医師から野球はやめなさい、と言われました。どうして自分は野球を禁止されるのだろうかという疑問を持ち、なぜ納得できる説明をしてくれないのだろうかという思いを抱きまされた」それが、医師を目指すきっかけになったという。

初期臨床研修を終え、富山大学第一外科の呼吸器外科部門に入局した際に、D先生との貴重な出会いがあった。

「D先生はオールマイティな知識

健やかな未来に、潤いを。

主なソリューション内容

- ・ 新規開業・開局支援
- ・ システム・医療機器コンサルティング
- ・ 医薬分業支援
- ・ 各種研修会、医業経営情報配信サービス
- ・ 経営コンサルティング(事業承継、etc.)

総合窓口 本社 ソリューション部
TEL:076-239-0625
E-mail: solution@jp-finese.com



[本社/金沢支店] 〒920-0295 石川県金沢市大浦町ハ55番地 TEL 076(239)0032 FAX 076(239)0092
[支店] 小松支店・七尾支店・富山支店・高岡支店・黒部支店・福井支店・敦賀支店・名古屋支店
[営業所] 高山営業所・三重営業所・豊橋営業所

と技術を備え、人格者でもあるかた。医者としてのみならずまさに人生の師匠。自分もこういう医師になりたいと思いました。一緒に臨床に当たれるのが本当に楽しかったです」

患者の人生も背景も見守る

山本院長があこがれるのは「まち医者」だという。疾患を診るだけでなく、患者の人生を長く見ていきたいと考えている。さらに、患者だけでなく、その家族の悩みなども、まごとして受けとめたいと考えている。

「富山市民病院に勤めていたころ、患者さんの診察では、患者さんの背景を聞くことに時間をかけていました。趣味は何か、楽しく生活しているか、そういう話を聞くことが好きなんです。たとえば、山に行つて狩猟をしている方からは、こんな獲物が取れたという話を聞いて写真を見せてもらったり。魚釣りが趣味の方からは、このあいだ、こんな魚を釣ったんだという話を聞いたり。患者さんには病院に来て話をするのが楽しい、と言われていました。ですから、そういうふうになりたいという思いがあります」

山本院長のイメージでは、人生を楽しんでいる人は心と身体ともに健康だと感じている。

「医師の言葉は患者さんの心を癒し、励ますことができる。患者さんとのコミュニケーションを大切にしたい」患者さんの心と身体を「ゆたか」にするためスタッフともども患者に寄り添う、そんなクリニックを目指していく。



医療をデザインする株式会社医心

ISHIN

business description

各種印刷

WEB制作

デザイン

企画・編集

取材業務

撮影(写真・動画)、編集作業

出版(雑誌、記念誌など)

セミナー・イベント企画・運営

医療学会の企画・運営

テレビ番組企画・編集・制作

広報コンサルティング業務

医療ブランディング

クリニック開業支援

株式会社医心

〒920-0213 金沢市大河端町東55番3号

tel: 076-203-6613 / email: info@project-ishin.net

mission

家元で理想を超える家づくり



理想のライフスタイルに
合わせた完璧な住まい

私たちは、お客様一人ひとりのライフスタイルに寄り添い、最適なデザインを提案します。家族の夢、趣味、日常の小さな瞬間までを考慮した、唯一無二の住まいを創り上げます。

人や環境にやさしい
高性能な家づくり

私たちの家は、地球環境に配慮した最新の技術を取り入れています。エネルギー効率の高い設計、再生可能エネルギーの活用、自然素材の選定など、持続可能な未来を見据えた家づくりを実現しています。

技術力の高い職人たちが
支える確かな品質

高い技術力を誇る熟練の職人たちが、細部にまでこだわりを持って施工します。長年の経験と確かな技術で、お客様の期待を超える住まいをお届けします。



お問合せ

詳細な情報やモデルハウスの見学をご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

<https://kanazawaiemoto.jp>

076-255-1201

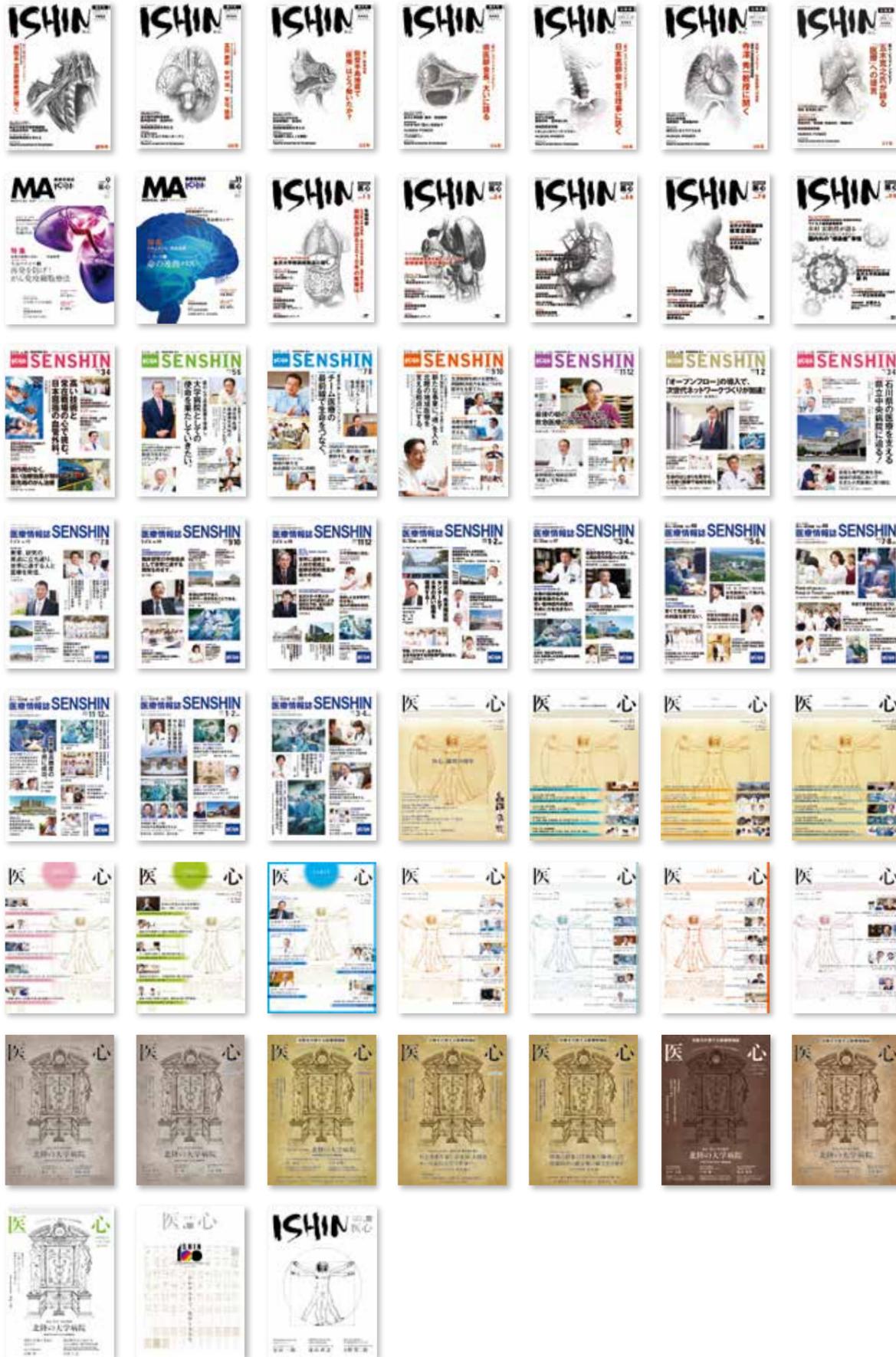


株式会社家元 石川県金沢市問屋町 1-27-1

【建設業】石川県知事許可(般-1)第17091号
【一級建築士事務所】建築設計事務所 意匠庵 / 石川県知事許可 第13806号
【宅地建物取引業】Find.r / 石川県知事(1)第4223号



美しい人になる
家元の家。





『通いたくなる場所』をデザインする

DIRECT 株式会社 / DIRECT 建築設計事務所



令和6年能登半島地震の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます

この度の令和6年能登半島地震において、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様のご無事と1日も早い復旧を心よりお祈りいたします。また、被災地における救命・救助、復旧・復興活動などにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

医療情報誌 医心「ISHIN」 協力病院一覧

石川県

金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
石川県立中央病院
金沢市立病院
石川県立こころの病院
加賀市医療センター
公立河北中央病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
公立つるぎ病院
公立能登総合病院
公立羽咋病院
公立松任石川中央病院
国民健康保険 小松市民病院
市立輪島病院
珠洲市総合病院
町立富来病院

能美市立病院
石川県済生会金沢病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院
金沢聖霊総合病院
金沢赤十字病院
独立行政法人国立病院機構 医王病院
独立行政法人国立病院機構 石川病院
独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター
独立行政法人国立病院機構 七尾病院
社会福祉法人松原愛育会 石川療育センター
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川
心臓血管センター-金沢循環器病院
医療法人社団浅ノ川 千木病院
医療法人社団光仁会 木島病院
医療法人社団慈豊会 久藤総合病院

医療法人社団 下崎整形外科医院
医療法人社団橋会 整形外科米澤病院
医療法人社団田谷会 田谷泌尿器科医院
医療法人社団博友会 金沢西病院
医療法人社団藤聖会
金沢メディカルステーション ヴィーク
国家公務員共済組合連合会 北陸病院
小松ソフィア病院
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院
社会医療法人財団董仙会 恵寿金沢病院
医療法人社団竜山会 金沢古府記念病院
医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院
特定医療法人扇翔会 南ヶ丘病院
特定医療法人社団勝木会
やわたメディカルセンター
公益社団法人 石川勤労者医療協会
城北病院

富山県

富山大学附属病院
富山県立中央病院
富山市立富山市民病院
あさひ総合病院
射水市民病院
かみいち総合病院
黒部市民病院
公立南砺中央病院
富山県リハビリテーション病院・
こども支援センター
高岡市民病院
南砺市民病院
公立学校共済組合 北陸中央病院
独立行政法人国立病院機構 富山病院
独立行政法人地域医療機能推進機構
高岡ふしき病院
独立行政法人労働者健康安全機構
富山ろうさい病院
富山県済生会高岡病院
富山県済生会富山病院
富山赤十字病院
医療法人財団恵仁会 藤木病院
医療法人社団秋桜 丸川病院
医療法人社団尽誠会 野村病院
医療法人社団藤聖会 富山西総合病院
医療法人財団五省会 西能病院
富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院
富山県厚生農業協同組合連合会 滑川病院

福井県

福井大学医学部附属病院
福井県立病院
市立敦賀病院
独立行政法人国立病院機構 あわら病院
独立行政法人国立病院機構 敦賀医療センター
福井県済生会病院
独立行政法人地域医療機能推進機構
福井勝山総合病院
福井赤十字病院
医療法人福井心臓血圧センター
福井循環器病院





私たちは地域の皆様に 寄り添い、頼られる 薬剤師になります。

超高齢社会の中で、ドラッグストアに求められる機能、地域社会において果たすべき役割が拡大しています。その中で当社は、地域の皆様の『健康の維持・予防・未病』から『治療・看護・介護・終末期』まで、生涯に渡ってトータルなヘルスケアサポートを行います。

各種、医療機関、クリニックの処方箋応需



地域の健康維持・増進をサポートする 石川県庁前店



コミュニティスペース

血管年齢、筋肉量・脂肪量等がいつでも無料で測定可能。管理栄養士がカウンセリングします



介護ステーション

初めての介護の相談や介護用品の販売・レンタルまで福祉用具専門相談員が親切に対応します

中部・関西・関東・北陸・信州・
北海道・東北に出店エリア拡大中!

グループ合計
(2024年6月末現在)
1,760店舗

関西 581店

北陸・信州 84店

北海道・東北 3店

関東 502店

中部 590店

■ 全社
売上高 **7,444.8** 億円 +11.5%
(年間計)

■ 調剤
売上高 **1,587.8** 億円 +11.5%
(年間計)

■ 処方箋
枚数 **1,475.9** 万枚 +14.3%
(年間計)

■ 訪問調剤
対応店舗数 **601** 店舗 +6.4%
(年間計)

■ 訪問調剤
患者数 **189,109** 名 +7.4%
(年間計)

2023年度実績

詳しくはHPをご覧ください。 <https://www.drug-sugi.co.jp/>

スギ薬局

検索